

高知くらしの護身術

119

食べ物による窒息

幼児やお年寄りは注意

(2009年2月3日掲載原稿)

お正月に餅を危うくのどに詰ませそうになったという経験をした方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

奥歯がなく食べ物をすりつぶすことができない幼児や、だ液の分泌も少なく咀嚼機能が低下した高齢者は、食べ物による窒息が起きやすく特に注意が必要です。

食べやすい大きさにしてよくかんで食べる、食事の時はなるべく誰かがそばにいて注意して見ていることで事故を予防できます。万が一事故が起こった場合には119番通報を近くの人に頼み、ただちに背部こう打法（頭を低くして、背中の中を平手で何度も連続して叩く方法）等で詰まったものの除去を試みてください。

繊維質が豊富で低カロリーの食品として人気のある、一口サイズの「ミニカップこんにゃくゼリー」については、窒息事故が相次ぎ、平成7年以降死亡事故事例が22件発生し、国民生活センターでは繰り返し商品テストを実施し、子供や高齢者には食べさせないようにと注意喚起しています。

昨年12月のテストでは物性がやわらかくなっているものがある一方ほとんど変わっていないものがあったことや外装パッケージの表面に大きく子供や高齢者には食べさせないようにという警告絵表示等がほとんどのメーカーで記載されていることがわかりました。

なお、食品安全委員会や厚生労働省からもこういった窒息事故に注意するよう呼びかけを行っています。参考にしてください。